# 秘書学論集

### 昭和62年3月

#### 目 次

〈論 文〉	
律令制下における皇太子の補佐機関 荊木	美行 3
秘書としての適性把握に関する基礎的研究(2) 白川, 阿久津, 乳井,	丹治 1
文章抄録の自動化に関する試み 乳井	克憲 2
松山市における女性雇用者の実態と秘書教育 采女、森貞、佐伯	青野 39
桐木, 渡辺, 藤原, 亀岡,	小西
〈報 告〉	
人事院総裁秘書官の職能研究 林   加	推太郎 55
ワード・プロセッサーと英語商業通信文	
- 教師への提言- Bernard S	Susser 6

No. 5 1 9 8 7

# 日本秘書学会

論集第五集の後書きを述べるにあたり、想起されることは福田節生氏のことであります。 氏は秘書教育協会の実質上の創立者であり、 秘書学会の創立の中心的役割を果たした人でもありました。本来ならこの後記も福田氏が書くはずでありましたが、残念なことに氏は急逝されました。その後任として私が後記を書くことになったわけです。業半ばにして倒れた氏に心からの哀悼の意を表する次第であります。

さて、本号の応募論文数が少なかったことは残念なことでありますが、ただ本号には歴史・調査・言語学など各専門領域よりの投稿があり、秘書学研究の領域が広がって行くことは喜ばしいことではあります。しかし前号で福田氏の指摘された点を守られていないのは非常に残念なことであります。それは福田氏の「秘書機能や秘書職能などの分野では、

『学問論』を素通りし、『秘書概念』を無原 則に使用する傾向があり」とのご指摘であり ます。主題の設定には見るべきものがあるの に、その展開と内容に関してはいま一歩との 感がありましたのはこのためではないかと思 われます。また秘書学の研究はまだ日浅しと しても、秘書協会設立以来十余年数多くの業 績があり、これらの十分な消化のうえにたっ て論じた傾向は見られず、また秘書学は隣接 科学と関係があるとしてもその学問の理解が 不十分のまま論じる傾向が見られることは惜 しいと思われます。

論文には論文としての内容と形式があることは、本論集の後記で毎号指摘されていますし、引用の仕方、注の付け方、和書と洋書の扱い方などにも十分注意すべきであります。

以上述べたことは、真剣に問題に取り組んだ方には失礼な言葉もあったかと存じますが、これはただ秘書学の一層の進展と本論集の充実を願ってのことであり、ご寛恕頂きたいと存じます。

次号には多数のご投稿あることを期待して 後記といたします。 (横山)

■編集委員 横山静祺(委員長) 岡田聚 戸田忠一 中佐古勇 福永弘之 吉田寛治

秘書学論集No.51987昭和62年3月31日 発行

発行 日本 秘書学会編集委員会 158 東京都世田谷区等々力6-39-15 産業能率短期大学 教務部内 TEL 東京(03)704-4011(代)

制作

(株) 金 精 社 TEL 03-994-5801(代)

## **JAPAN**

# SECRETARIAL SCIENCE REVIEW

No.5 March	1987
Contents	
<articles></articles>	
The Supporting System for Princes in the Ritsu-Ryo State Yoshiyuki Ibaraki	3
A Survey on Secretarial Aptitudes (2) Shirakawa, Akutsu, Chichii, Tanji	11
A New Approach to Automatic Processing	
of Literature Abstracts Katsunori Chichii	21
The Actual Conditions of Female Employees	
and Secretarial Education in Matsuyama City Uneme, Morisada, Saeki,	39
Aono, Kiriki, Watanabe, Fujiwara, Kameoka, Konishi	
⟨Reports⟩	
A Study of the Functions of the National Personnel	
Authority Governor's Secretary	55
Word Processors and English Business Correspondence	
-Some Considerations for Teachers- Bernard Susser	65